

ふるさとのかほ

平成16年(2004年)7月11日発行 野間清治顕彰会だより 4号

口発行編集/野間清治顕彰会 〒376-0022 群馬県桐生市桐高町6番2号 桐生市立図書館内 編 0277-47-4341



(第一回実行委員会)

講話 社創業者

生誕の碑

野間清治顕彰会桐生市立図書館の顕彰碑は、平成十一年十一月三日に建立し、昨年建立五周年を期えた。この機日の五周年記念行事として、厳正式と野外コンサート(ラブラコ歌王甲木勲三氏・文化講演会(エンジブト考貞吉氏・村中忠氏・現居地移住村・嵐野文庫と信濃の風土を尋ねて・講義社野間記念美術館の全面協力)と桐生市文化事業団の共催支援を以て「野間コレクション」などの諸行事を開催。そして、改めて桐生の文化と創業者を認識することができた。そして、野間清治を顕彰する活動を通して、桐生の先覚者を感じずる冊子も第五集の編集に着手、半歩の歩みであるが御覧に付録している。

今、顕彰会の活動と共に、また新しい息吹が放たれた。それは、

去る平成十五年十二月十七日はからず野間清治(一八七八〜一九三八年)の誕生日に、生誕の碑建立の発起人が南小学校校長室において発足したことは何かの懐い絆を成す。

野間清治が生れた地の南地区の方々が中心となって「生誕の碑」を建立し、桐生の先覚者を第

士の誇りとする取り組みが始まったことは、またひとつ桐生の新しい輝きである。

委員長に地元の第四区の新区長小林幸雄氏、副委員長に同区の新区長梅原正吉・第五区区长木島博一氏が就任。

碑の建立予定地として南小学校校地内を第一候補に、碑の形・字数など諸々の課題について検討を重ねると共に、「先覚者を誇りとする人達の賛意と共感を獲得しながら、市民運動へと完成させたい」と、小林会長は語っている。建立の目標期日は、平成十六年十二月十七日の清治誕生の日を建立したいと、……。

顕彰会の調査では、清治は「山田町新田村南郷内九七番地、現在の小機町内渡良瀬工事業務所裏手を成れる川水堤の敷島川土手寄りの教員宿舎で生まれた」と思われる。その後、現在の南小学校校地内の宿舎で育った。

生誕の碑建立の意義は、郷土の先人を誇りに思ふことへの育成にある。人間として基本的な観念を先覚を敬い、誇人を愛し郷土を愛する。こそが育まれることへの道標となるものと強く感じている。そしてこのことが将来を担う、子ども達のことにも大きく響くものと期待されるのである。